



# 看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会

NO.07-02 07.09.13

2007年9月6日(木)

## 全日赤二交替制反対学習交流集会開催しました!!

台風9号が直撃した9月6日、医労連の『2007年秋・増員闘争推進・看護要求実現全国交流集会』のあと、二交替制反対集会を開催し、13単組・30名(県医労連2名含む)が参加しました。

集会の中では、書記次長による「順法で長時間労働(二交替制勤務)に歯止めを」と題し、二交替制と労働基準法の関係や団体交渉での追及点を学びました。また、全国のうごきやたたかひの経験を交流しました。

2年ほど前より、長時間・二交替制夜勤が広がっています。「夜間の出入りが無い」「申し送りの回数を減らせる」「夜勤明けの休暇がしっかりとれる」など、病院側はメリットを宣伝し、スタッフも「今よりましな勤務になるなら」と二交替制勤務への期待を持っています。しかし、**試行であっても二交替制への変更は大きな労働条件の**

**変更となるので、労使での合意**が大前提であり、

- \* 夜勤の回数の4回以内に制限する
- \* 夜勤の人数を4人以上に増やす(病棟スタッフの増員)
- \* 夜勤中の仮眠2時間の確保は絶対条件です。

そこで大切な視点は

働くスタッフにとってどうなのか  
患者さんにとってどうなのか

です。



安全・安心の医療・看護・介護の提供が出来るよう、私たちが働き続けられる職場になるよう、8時間労働を基本に過酷な夜勤労働を制限していきましょう。また、職場でのアンテナを高くし二交替制への動きに対しては本部に連絡をください。そして、力を合わせて全国でたたかっていきましょう。

**\*\*まだまだ受付中!!\*\***

2007年度夜勤実態調査

「7:1」看護アンケート

本部まで お願いします